



# 輝くひとみ



バトンを引き継ぎました！

“**楽らく笑SHOW**”な学校

なか**1000**笑楽校



## 令和5年度のしめくり 「児童総会」

今年度のしめくりとなる、3～6年生による「児童総会」がありました。運営委員会と各委員長の企画・運営で実施されました。

五つの委員会からと、それぞれの学年の学級目標の振り返りが発表されて、この1年間の子どもたちのがんばりと笑顔が思い出される、温かな時間になりました。

「質疑応答コーナー」では、各学年から、「来年も、楽しいイベントをたくさんやってほしい」「体育館でお化け屋敷をやってみたい」といったお願いや、「校庭の草取りありがとうございました」「毎日の元気なあいさつ運動ありがとうございました」といった、感謝の言葉もたくさん伝えられました。

### 運営委員会

- 世界一楽笑な学校を目指して、そろいのオレンジジャンパーを着て、毎朝のあいさつ運動を盛り上げてくれました。運営委員1人1人の、全校に対する思いが変わってきたことなどの成果と、まだ、低学年と高学年のあいさつの差が大きいといった課題も引き継がれました。



### 楽笑イベント委員会

- NPSの漫才やダンス、紙飛行機大会などの「楽笑タイム」を楽しく盛り上げてくれました。児童総会では、その中の「進化形ジャンケン」などを寸劇で楽しく振り返ることができました。下級生からの要望や意見も、このイベント委員会に多く集まりました。



### 図書委員会

- 「読み聞かせ」や、「読書集会」を企画して、全校のみんなが本好きになるような楽しい時間を作ってくれました。日常的な本の貸し出しや集会での「ビブリオバトル」、図書ボランティアの皆さんとの「クリスマス読み聞かせ」について、振り返るとともに、5年生のがんばりも紹介されました。



### 給食 & 健康委員会

- 毎日の給食献立の放送で、全校のみんなが好き嫌いしないで、おいしく楽しい給食の時間を過ごすことができるように心がけて活動してくれました。また、「ふきん配り」などの、みんなには見えにくい活動や、クイズの掲示などをがんばり通しました。



### SDGs委員会

- 新しくできたSDGs委員会は、全校みんなの「SDGs」の認知度をものすごく高めました。「SDGs集会」や「被災地支援募金」などの活動は、主体的に社会と関わるリーダーとして、まさに、中仙小学校に新しい風を運んできた1年でした。



## みんなのがんばり紹介

第21回JA秋田おぼこ杯大曲仙北ジュニアミニバスケットボール交歓大会  
優勝 男子の部 MIRRORS BC

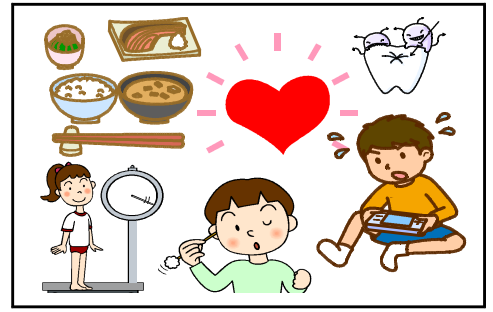
2024ジュネスカップスキー大会

小学校1年男子大回転 第5位 1年 さん  
小学校2年女子大回転 第2位 2年 さん



# 令和5年度 学校保健委員会

子どもたちの心と体の健康について、専門の皆さんと  
も考える「学校保健委員会」が久しぶりに開催され  
ました。委員は、次のように、学校医等の方々、保護者  
としてPTA会長さん、学校の担当者と構成されて  
います。主な健康課題等については、下に記載したとおりです。



## 学校保健委員会 委員名簿

学校医（内科）  
学校医（歯科）  
学校医（耳鼻科）  
学校医（眼科）  
学校薬剤師  
PTA会長

校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、体育主任、保健主事（養護教諭）

【○よいところ ▲課題 →学校の取組】

### (1) 定期健康診断の結果から

▲肥満児の出現率（本校は14%）が県・全国平均を上回っている  
→「早寝、早起き、朝ごはん、歯みがきチャレンジ」等を実施した

▲耳の疾患で耳あかのある子が全国の2倍いる

○永久歯の虫歯のない子が93%  
→全学級で、「カラーテスター」を使った学級指導を実施した

○裸眼視力が1.0以上の子が67.8%で、県・全国を上回っている  
▲視力は、学年が進むと低下している。

○今年度は、命を守る学習場面で、地震体験車や煙道体験等を取り入れた

### (2) 新体力テストの結果から

▲50m走は、1年男子以外は県・国を下回っている  
→「パワフルタイム」の充実や、授業で瞬発力を鍛える運動を推進する

### (3) 生徒指導の取組から

▲4月から12月までのいじめは、全学年に見られ、総数は13  
→「さわやかアンケート」を実施して、すぐに担任が話を聞いたり指導  
したりして対応し、職員間でも常に情報が共有されている

○いじめの継続はゼロ

▲登校が難しい子どももいる  
→家庭と連携して、無理せずに「できること」にチャレンジできている

### (4) 「なかせんネットチャレンジ」の結果から

▲期間内のメディア使用時間（30分）を守れない子どもが1/2程度いる  
→児童会で話し合ったり、「さわやかアンケート」を活用したりするなど  
して、学級での指導を重ねている

▲勉強するとき、親に機器を預けている子どもは、約70%



### ～委員の皆様からの、主な指導内容～

- ・「肥満」の子どもが多い。食べることと運動習慣は家庭の問題。大人になってからでは難しい。子どものうちから、保護者が生活習慣を改善してやる必要がある。
- ・虫歯は、全然ない子とすごくある子に二極化している。子どもの頃からの口の衛生にも注意を。
- ・耳あかは、2～3か月に1度はしっかりと竹製の耳かきでそうじしてあげてほしい。綿棒では、水分と脂分がなくなってしまうので要注意。
- ・スマホの利用については、自己管理ができていない小学生を、親がしっかりと管理することが重要。